

第2号議案

平成22年度事業実績 及び平成23年度事業計画

(3)医療・健康機器市場・技術研究会事業

平成23年7月28日

みやぎ高度電子機械産業振興協議会 平成23年度総会

1 研究会の概要

医療・健康機器
市場・技術研究会

目的

医療・健康機器市場への参入・取引拡大
～ 医療・健康機器業界 発展への貢献を目指して～

組織

- ◆ 設立 : 平成21年7月
- ◆ 構成員 : 92団体(平成23年3月31日現在)
- ◆ 事務局 : 宮城県経済商工観光部新産業振興課

方針

- ◆ 国内外の医療機器メーカーとの提携 ⇒ 出口重視
- ◆ 医療機器の高度化への貢献 ⇒ 改良提案
- ◆ 長年培ってきた地域のものづくり力の活用 ⇒ 製造受託

【活動メニュー】

◆ 市場・業界理解の徹底

臨床医, 医療機器メーカー等による市場セミナー
県薬務課による薬事法研修, 薬事相談

◆ 現場ニーズに基づく改善製品の検討

東北大学病院, 県立病院等の現場ニーズに
基づく改善検討

市場・業界理解
製品理解

◆ ビジネスマッチング

展示会出展や個別提携先の調査と提携支援

産産・産学連携支援
技術支援

◆ 産産・産学連携支援

県内外ものづくり企業との連携
東北大学はじめ研究機関等との連携支援

◆ 試作提案に向けた技術支援

大学等・県技術センターによる技術支援



2 平成22年度事業実績～市場理解～

医療・健康機器
市場・技術研究会

■市場・業界理解，医療行為・技術理解を促進するため，各診療科目をテーマとするセミナーを開催。

	開催日	テーマ (診療科目)	講師 (東北大学病院)	講師 (医療機器メーカー)	参加者数
第1回	22/8/22	肝胆膵外科	医学系研究科 江川新一准教授	アイ・エム・アイ(株)	46名
第2回	22/10/28	耳鼻咽喉科 頭頸部外科	医工学研究科 川瀬哲明教授	リオン(株)	37名
第3回	23/2/28	整形外科	医学系研究科 佐野博高講師 小澤浩司講師	スミス・アンド・ネフュー エンドスコープ(株) ジョンソン・エンド・ ジョンソン(株)	33名

※第1回研究会では，東北大学病院スキルズラボの見学実習を開催。5つの臨床実習用のラボブースをグループごとに見学し，高度な医療シミュレータや手術機材等を体験。



症例シミュレータ



心音の聴取や脈拍の触知



超音波診断



触診モデル



エチコンエンドサージェリー
器具類

2 平成22年度事業実績～市場理解～

医療・健康機器
市場・技術研究会

- 技術・製品テーマ別に理解を深める分科会を設置。
- 現在、地域に集積するセンサー関連技術の活用を検討する「生体センサー分科会」を設立・活動中。

- ◆生体センサー分科会（H22/9設立）
生体センサー関連の市場動向や製品・技術動向を学び、
保有技術の活用可能性を探るもの。



	開催日	テーマ	講師 (医療・健康機器メーカー)	参加者数
第1回	22/12/10	生体センサー関連製品・技術の 動向と今後の展開	オムロンヘルスケア(株) 新規事業開発センター 志賀利一 氏	24名
第2回	23/3/11	心臓外科領域における生体情報	ニプロ(株)総合研究所 人工臓器開発センター センター長 高野久輝 氏	15名

- ◆救命救急・災害対策分科会
救命救急・災害分野における分科会設立を検討中。



3 平成22年度事業実績～産学連携～

医療・健康機器
市場・技術研究会

皮膚評価のためのアレイ型高周波数超音波プローブの開発 (H21～)

【研究開発メンバーとその役割】



東北大学 (医工学研究科西條芳文教授)
超音波イメージングの開発



(株)日本セラテック
圧電素子の開発・製造



ケイテック(株)
部品実装・プローブ組立等



本多電子(株)
システム評価・薬事対応・販売

H22/6 競争的資金を獲得
(国：初年度1億、次年度5千万円を上限)を獲得

※研究開発 2年目

新市場開拓



医療機関
美容・化粧品メーカー等

画像処理技術を応用した歯の噛み合わせ可視化装置の開発 (H22～)

【研究開発メンバーとその役割】



東北福祉大学 (渡邊誠教授
・元東北大学理事)
発案, ユーザー評価



(株)スクリブル・デザイン
ソフト設計・開発



(株)緒方製作所
モジュール製造・組立



(株)ジーシー
システム評価・薬事対応・販売

H22/7 競争的資金を獲得
(県：単年度 500万円)

H23/5 歯科接触分析装置「Bite Eye BE-I」発売



医療機関
研究機関等 医療現場の課題解決



4 平成22年度事業実績～展示会等～

医療・健康機器
市場・技術研究会

展示会・技術内覧会の状況

◆「テルモ(株)様向け技術内覧会」

開催日 平成22年7月14日
会場 テルモ(株) 愛鷹工場(静岡県富士宮市)
概要 出展13社 うち宮城県内企業6社
来場者数 約100名



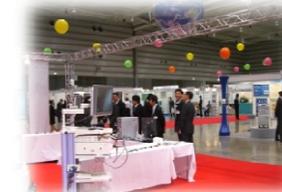
◆「(社)日本医療機器工業会会員様向け技術内覧会」

開催日 平成22年7月27日～30日
会場 日本医科器械会館(東京都文京区本郷)
概要 東北地方の企業67社が出展 うち宮城県内企業17社
来場者数 299名



◆「メディカルクリエーションふくしま2010」

開催日 平成22年11月25日・26日
会場 ビッグパレットふくしま(福島県郡山市)
概要 出展146社 うち宮城県内企業6社、2団体



◆「GEヘルスケア・ジャパン」とのビジネスマッチング

開催日 平成22年12月・平成23年1月
概要 GEヘルスケア・ジャパン日野工場とのビジネスマッチング



個別支援の状況(協議会設立以降)

競争的資金 (国・県)獲得支援	業許可取得支援	産学連携構築支援	提携・事業化支援
7件	7件	5件	17件

5 今後の課題と取組むべき方向性

研究会活動から今後の課題を整理

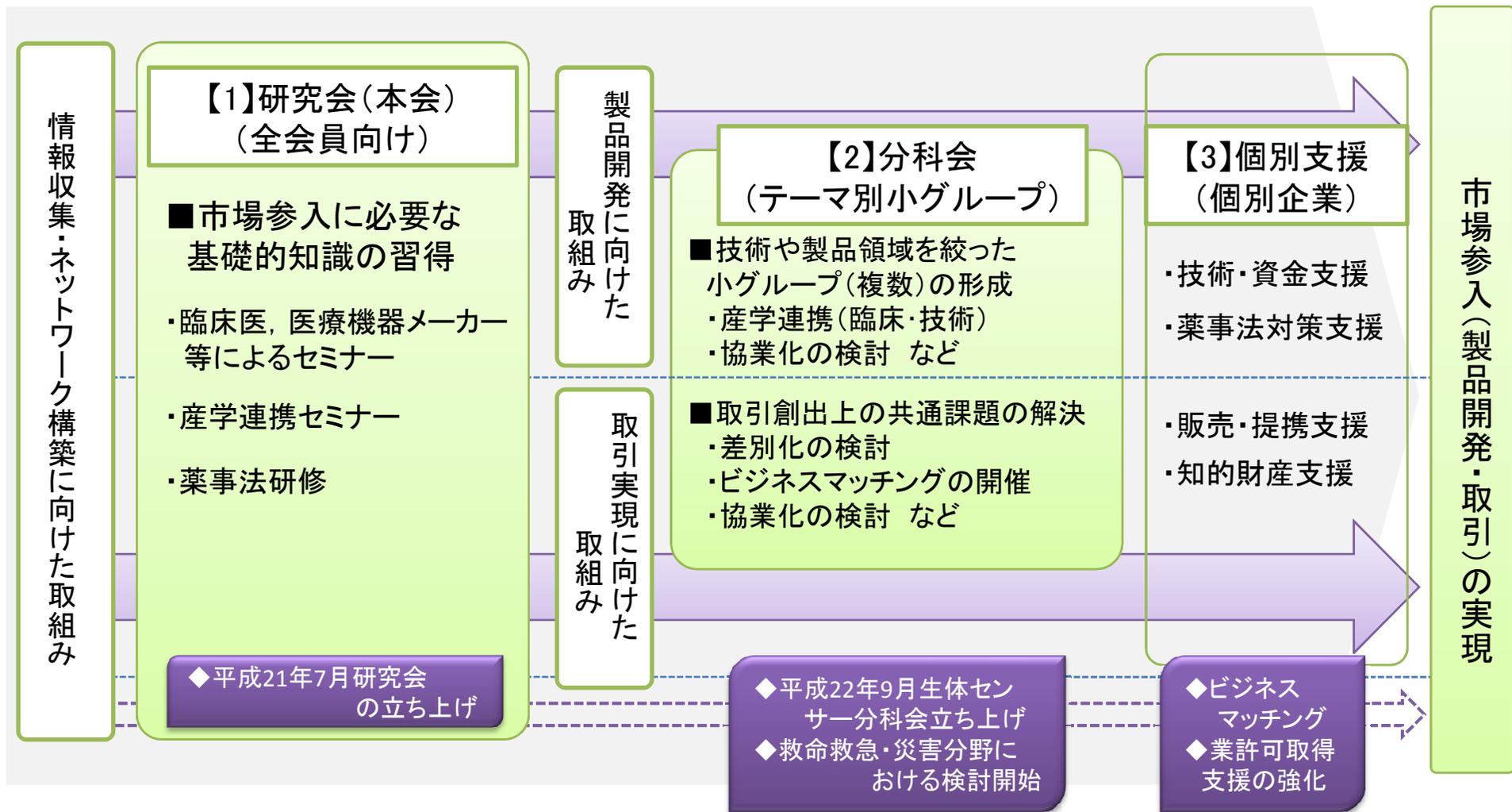
- i 市場・業界理解の徹底...市場・業界, 医療行為・技術の理解の促進
- ii 優位性の確保(差別化)...医療機器製造事業者の創出, 薬事支援体制の活用
- iii ネットワークの構築...首都圏の医療機器メーカーとの効率的なネットワーク形成

課題に対応した取組み (方向性)

- i 市場・業界理解の徹底
 - ◆ 東北大学との連携により, 臨床医及び関連医療機器メーカーによるセミナー開催(各診療科目をテーマ)を継続。
 - ◆ 技術・製品テーマ別に理解を深める分科会活動の促進。現行の「生体センサー」に加え, 「救命救急・災害分野」の設立を検討。
- ii 優位性の確保(差別化)
 - ◆ 医療機器製造業許可の取得に向けたセミナーや薬事相談の実施。
- iii ネットワークの構築
 - ◆ 東北大学をはじめ地域シーズ・ニーズの有効活用。
 - ◆ 東北6県と連携した医療機器関連団体とのネットワーク構築。

6 研究会活動の進め方

- 製品開発や取引実現を加速化する取組を重視。
- テーマを絞った「分科会活動」の組成や個別会員への「個別支援」を充実。
- 基礎的な市場・業界理解、薬事理解に関するセミナーも継続。



7 平成23年度研究会運営スケジュール

医療・健康機器
市場・技術研究会

	研究会(セミナー・研修・展示会等)	分科会	個別支援
4月	(立ち上げ調整) 【BM】GEヘルスケア日野工場とのマッチング	(立ち上げ調整)	【技術・資金支援】 ・大学・産技センターによる技術支援 ・競争的資金の獲得支援 【薬事法対策支援】 ・県薬務課の薬事相談・現地指導 ・薬事コンサルタントの派遣・紹介 【販売・提携支援】 ・研究会アドバイザーの派遣 ・ビジネスマッチング 【知的財産支援】 ・知的所有権センター等の支援
5月			
6月	【展示会:6/2-6/4】 メディカルショー・ジャパン & ビジネスエキスポ2011 【展示会:6/7-6/9】健康博覧会2011		
7月			
8月			
9月			
10月	【セミナー】第1回研究会		
11月	【展示会】メディカルクリエーションふくしま2011		
12月		【センサー】分科会	
1月			
2月			
3月	【セミナー】第2回研究会 【展示会】健康博覧会2012		